

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 ナビタス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6276 URL <https://www.navitas.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 辻谷 潤一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 日沼 徹 TEL 072-244-1231  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,368	△7.6	54	△71.4	62	△69.8	56	△78.1
2019年3月期第3四半期	3,644	9.2	188	22.2	207	17.9	257	140.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 58百万円 (△74.2%) 2019年3月期第3四半期 239百万円 (99.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	13.25	—
2019年3月期第3四半期	60.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,674	3,203	68.5
2019年3月期	4,740	3,168	66.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,202百万円 2019年3月期 3,168百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	△4.7	120	△48.5	130	△48.7	120	△66.2	28.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	5,722,500株	2019年3月期	5,722,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,453,683株	2019年3月期	1,478,935株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	4,258,172株	2019年3月期3Q	4,243,565株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）のわが国における景況感は、中国経済をはじめとする海外経済の減速や米中貿易摩擦の影響等を受け、輸出・生産等の弱さが長引くとともに、悪化傾向にありました。さらに、緊迫する中東情勢を含む地政学リスクや海外経済の先行きの不透明さ、これらに伴う輸出・生産の動向、消費税率引上げ後の動向等に引き続き留意が必要な状況が続いております。

こうした状況の中、当社における当第3四半期連結累計期間は、「2020年度に安定成長軌道に乗せる」という目標に向けた施策を実行してまいりました。事業ドメインと事業責任を明確化させるために、2019年4月に持株会社化をスタートさせ、経営方針としてスピード経営とグローバル展開を掲げ、全役職員が一丸となり事業に邁進してまいりました。また、事業の選択と集中をより加速させる必要から、来期以降の事業構造改革にも着手しております。

パッド印刷とホットスタンプ等の特殊印刷機、自動機・省力機、検査搬送機などの装置事業を主たる事業とするナビタスマシナリー株式会社は、国内市場では、インバウンド需要が踊り場となった影響を受けています。特に化粧品業界の設備投資の手控えと在庫調整の影響を受け、前年度比3割近い落ち込みとなっています。ただ、標準機の受注が底堅いだけでなく、人手不足を解消するための自動化・省力化機械への需要がますます高くなっており、新たな受注につながっています。

IMR事業とパッド印刷とホットスタンプ機の商品事業、および空気転写機「NATS」の販売を主たる事業とするナビタスニイズ株式会社は、IMR転写箔販売において海外向けが好調であり、国内アミューズメント業界向けも堅調に推移しました。商品事業では、主力のホットスタンプ関連商品とフィルム販売は大手顧客への依存度が高く、長期低落傾向にあり、事業再編後も拮据が見えない状況が続いています。NATS事業は、装置販売・フィルム販売共に苦戦が続き、各国が進める環境問題への対応が進まない事態は、足許の需要さえ喚起されない状態です。一方で自動車関連、トイレタリー関連業界への積極的な営業活動による試作品の受注に成功するとともに、環境対策商品の販売なども開始し、一定の成果を上げております。

独自性の高い画像処理ソフトウェア開発が主力の画像検査事業のナビタスビジョン株式会社は、国内シェアが高いラベル・カード検査機の引き合いは強く、販売台数も堅調に増加しています。しかし、ボトル・容器検査機が、製品在庫調整の影響を受けて受注が大きく遅れており、結果として当事業全体は緩やかな成長となりました。また、研究開発・人材への積極的な投資を実施したため、販管費の増加が、収益を一部圧迫していますが、本投資が来期以降の成長につながると判断しています。第3四半期に投入した新製品である大型検版機が競合他社製品に比べ、性能・操作性に優れていることが評価され、受注を大幅に増やしています。さらに、新型ボトル・容器検査機が、大手メーカーに新規採用され、来期の成長に向け、新しい動きとなっています。

海外市場における、NAVITAS VIETNAM CO., LTD. は、商社機能を充実させる施策が功を奏し、堅調に推移しました。NAVITAS THAILAND CO., LTD. は、初期投資負担が大きいのものの黒字見込みとなっております。納維達斯机械（蘇州）有限公司は、7年ぶりの黒字基調となり、業況は良いとは言えない中で体質改善の成果が出てきています。

親会社としての当社におけるCSC事業（メンテナンス事業）は、引き続き引き合いが強いものの、収益力の向上が課題となっています。研究開発室では、新製品へつながる成果や、将来への布石となる研究が進展しております。引き続き研究開発投資等を継続してまいります。一方で、人材投資、海外事業支援、システム投資等を積極的に行い、体質改善を進めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は33億68百万円（前年同期比7.6%減）となりました。また、利益面におきましては営業利益が54百万円（前年同期比71.4%減）、経常利益が62百万円（前年同期比69.8%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は56百万円（前年同期比78.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

財政状態については、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して66百万円減少し、46億74百万円となりました。これは主として有価証券が1億円、流動資産（その他）が1億30百万円増加し、現金及び預金が2億88百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して1億円減少し、14億71百万円となりました。これは主として流動負債（その他）が51百万円増加し、短期借入金37百万円、未払法人税等50百万円、未払消費税等47百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して34百万円増加し、32億3百万円となりました。これは主として利益剰余金が20百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して1.7ポイント増加し、68.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向を勘案し、2019年5月16日付「2019年3月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,372,293	2,083,993
受取手形及び売掛金	786,710	743,743
電子記録債権	186,306	145,766
有価証券	—	100,000
商品及び製品	108,747	128,218
仕掛品	294,169	329,457
原材料及び貯蔵品	164,383	164,182
その他	101,188	232,120
貸倒引当金	△1,574	△1,376
流動資産合計	4,012,224	3,926,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,687	8,836
機械装置及び運搬具(純額)	27,631	23,583
土地	239,171	239,171
その他(純額)	27,785	27,709
有形固定資産合計	302,275	299,301
無形固定資産		
無形固定資産	28,116	39,708
投資その他の資産		
投資有価証券	256,120	268,427
退職給付に係る資産	904	2,427
繰延税金資産	99,643	94,556
その他	42,308	49,605
貸倒引当金	△683	△5,572
投資その他の資産合計	398,294	409,445
固定資産合計	728,685	748,455
資産合計	4,740,910	4,674,562

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	998,017	994,671
短期借入金	37,770	58
リース債務	5,040	6,947
未払法人税等	73,894	23,611
未払消費税等	49,326	1,835
賞与引当金	48,238	39,209
その他	243,845	294,971
流動負債合計	1,456,133	1,361,305
固定負債		
リース債務	8,633	3,065
役員退職慰労引当金	70,455	—
退職給付に係る負債	36,747	31,555
その他	—	75,180
固定負債合計	115,835	109,801
負債合計	1,571,968	1,471,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,918,775	1,921,711
利益剰余金	1,550,600	1,571,180
自己株式	△473,001	△464,929
株主資本合計	3,096,374	3,127,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,638	36,231
為替換算調整勘定	43,929	38,350
その他の包括利益累計額合計	72,567	74,581
非支配株主持分	—	909
純資産合計	3,168,941	3,203,455
負債純資産合計	4,740,910	4,674,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,644,996	3,368,478
売上原価	2,405,984	2,244,159
売上総利益	1,239,011	1,124,318
販売費及び一般管理費	1,050,421	1,070,291
営業利益	188,589	54,026
営業外収益		
受取利息	996	478
受取配当金	4,987	6,666
受取賃貸料	8,214	6,699
受取保険金	8,557	—
その他	2,514	1,785
営業外収益合計	25,270	15,630
営業外費用		
支払利息	1,706	1,366
売上債権売却損	800	575
為替差損	3,569	4,874
その他	321	202
営業外費用合計	6,397	7,018
経常利益	207,462	62,639
特別利益		
固定資産売却益	174,057	—
関係会社株式売却益	—	19,738
投資有価証券売却益	—	3,750
特別利益合計	174,057	23,488
特別損失		
固定資産除却損	923	—
特別損失合計	923	—
税金等調整前四半期純利益	380,596	86,128
法人税等	122,668	29,487
四半期純利益	257,928	56,640
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	203
親会社株主に帰属する四半期純利益	257,928	56,436

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	257,928	56,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,560	7,593
為替換算調整勘定	△3,752	△5,580
その他の包括利益合計	△18,313	2,012
四半期包括利益	239,614	58,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,614	58,450
非支配株主に係る四半期包括利益	—	201

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)

(連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、タクトピクセル株式会社は、第三者割当増資の実施及び当社保有株式の一部売却により、連結の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社及び国内連結子会社は、2019年6月開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、「役員退職慰労引当金」に計上しておりました75,180千円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社及び連結子会社の事業は、印刷機器関連の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。